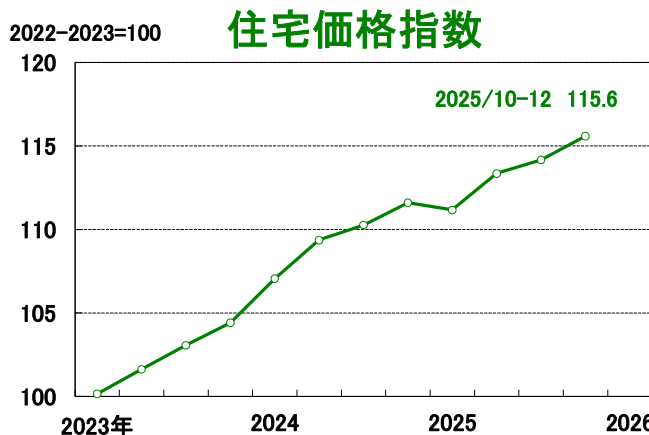
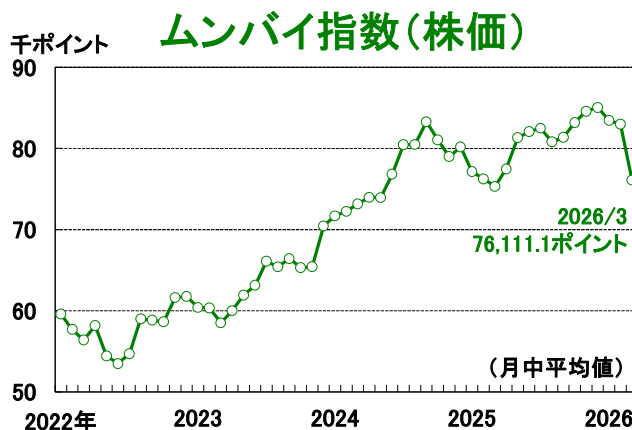
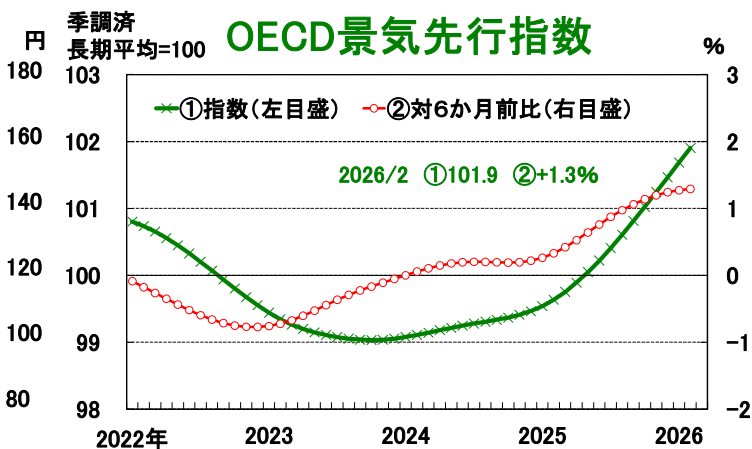
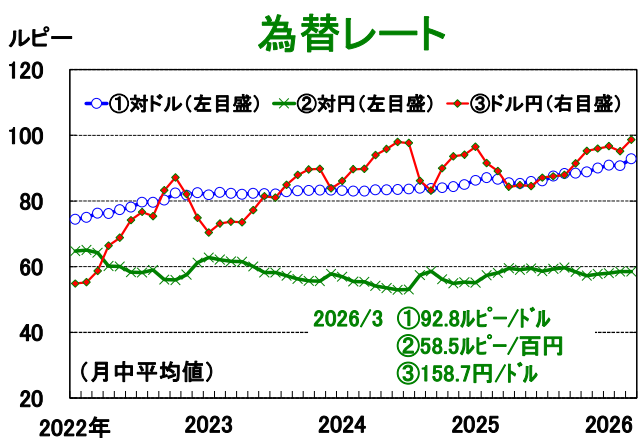
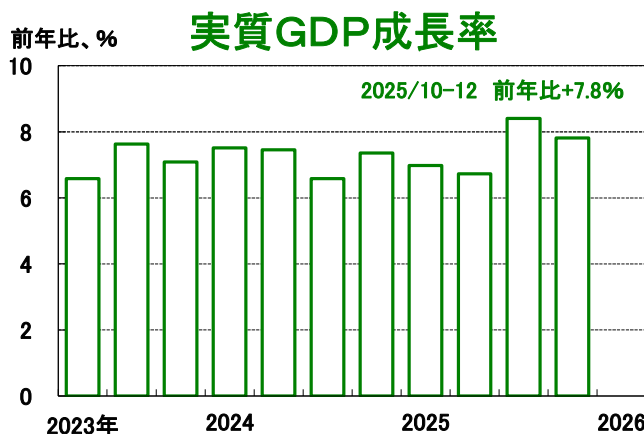
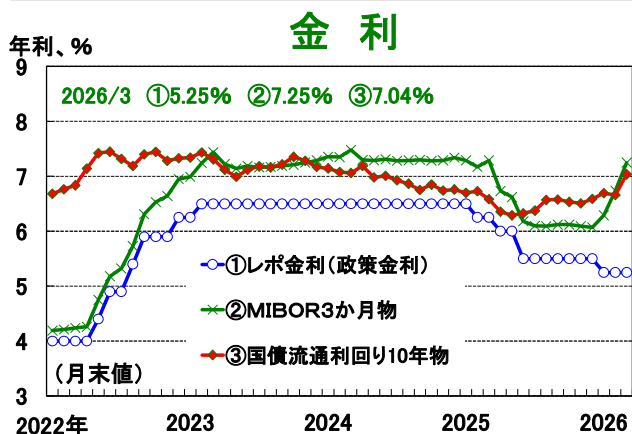


グラフで見るインド経済 2026年4月号(No. 196)

インドの景気は回復の動きが鈍化している。まず、内需をみると、2026年2月の新車販売台数(当社試算の季節調整値)が前月比-2.0%と4か月連続で減少するなど、個人消費は弱含んでいる。次に、外需に関しても、同月の輸出が前年比-0.8%と、わずかながら前年水準を下回った。内訳をみると、米国向けが大幅に減少し、中国向けも減速した。さらに、3月の製造業PMI(中立水準は50)は53.9と、前月を大きく下回った。生産や海外向けの新規受注の減少などにより、景況感の改善が鈍化していることが示された。

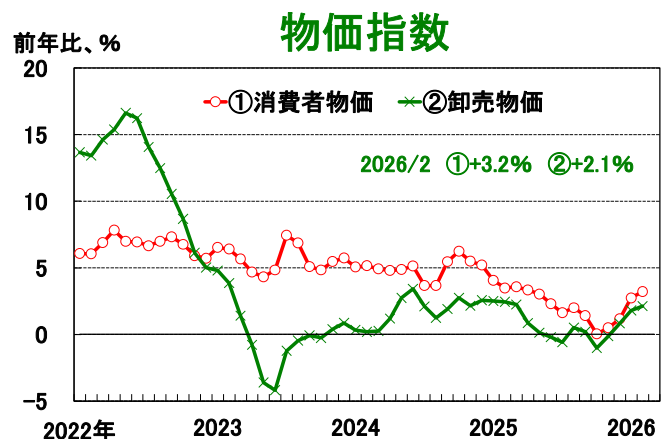
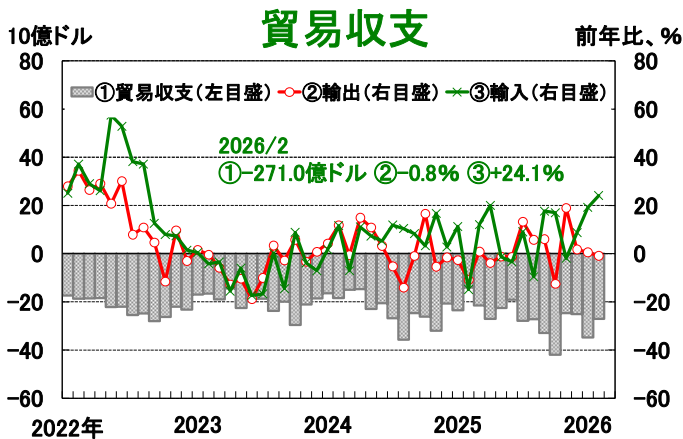
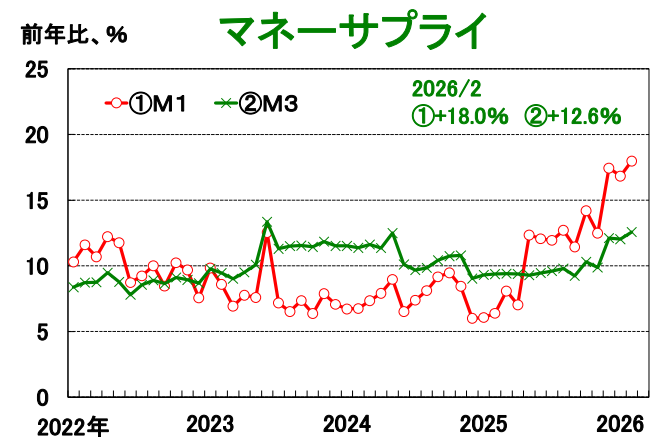
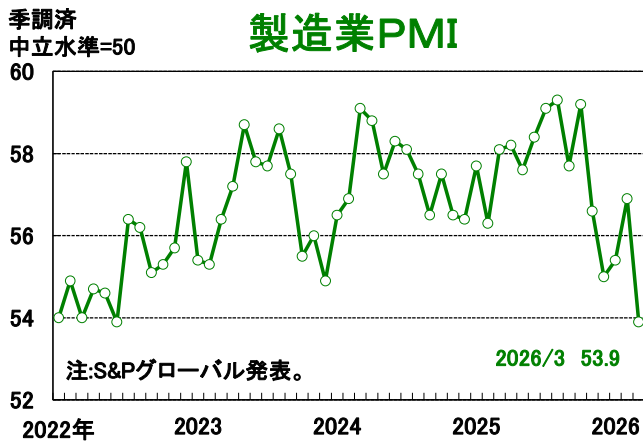
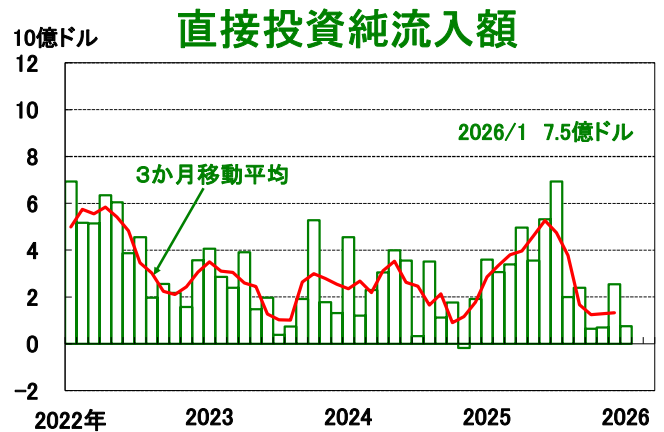
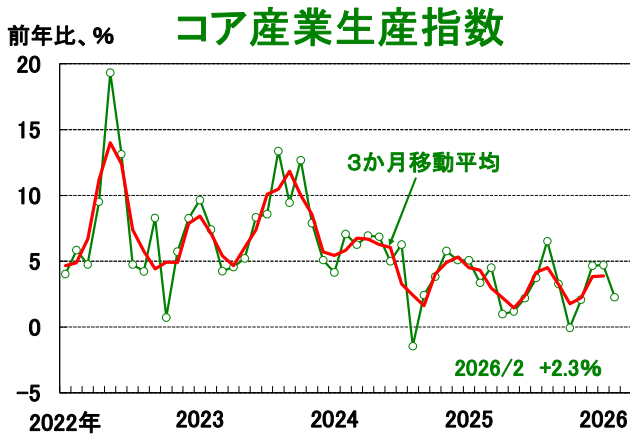
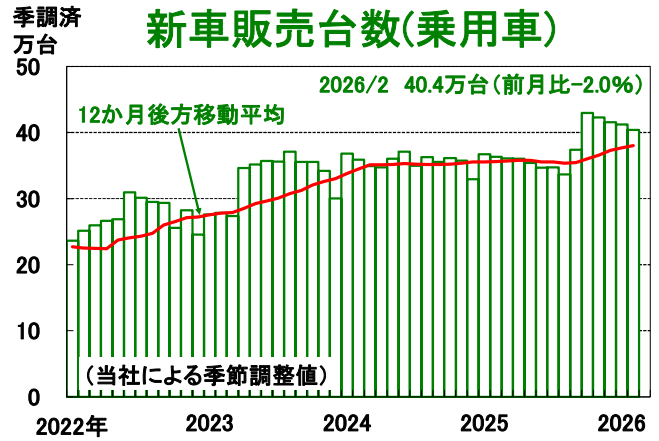
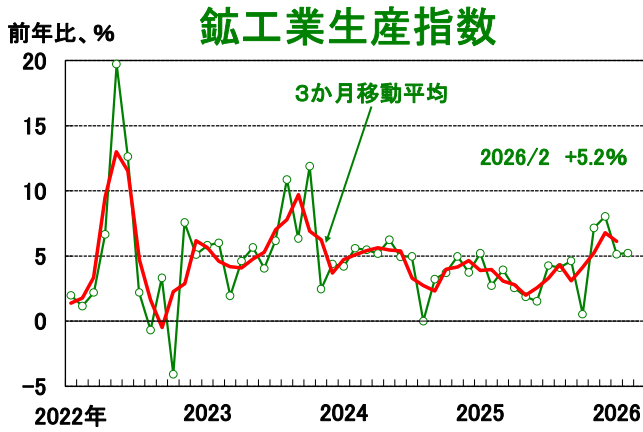
【足元の景気判断】					
指標	景気全般	輸出	新車販売	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↓	↓	↓	→	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。